



# 環境経営レポート 2019年版

〔期間:2019年4月～2020年3月〕

発行日 2020年11月4日



タツミ産業株式会社

〒114-8540

東京都北区上十条2-13-1 ガーデニア3階

TEL:03(3908)9525

FAX:03(3908)9510

URL <https://www.tatsumi-net.co.jp>



## 目次

環境経営方針	P2
事業活動の概要	P3
登録事業所	P4
組織図	P5
EA21 全社実施体制図	P6
2019 年度/環境経営目標及びその実績	P7
全社での環境経営活動	P8
2019 年度環境経営目標と実績	P9
環境経営計画の取り組み結果・評価・次年度の取組	P11
事業所活動事例	P12
代表者による環境経営計画内容及び取組状況評価	P22
環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P23

## 環境経営方針

### 環境への基本理念

タツミ産業株式会社は、包装容器・関連機器総合商社として自覚と責任において事業活動を通じて環境保全に取り組み、社会・地域・未来へ自然を守ります。

### 環境経営方針

1. 環境負荷を軽減するため、排出物の減量化・再資源化に努める企業活動を致します。
2. 商品の販売における商品調達および商品配送での環境負荷を配慮致します。
3. 「容器包装リサイクル法」等の法規制及び当社が同意するその他要求事項を遵守します。
4. 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との共生に努めます。
5. 事業活動において二酸化炭素排出量・排水量・廃棄物量を始めとする環境影響に対し、全体会議において環境目標数値を設定し、定期的な見直しの中で環境保全活動に努めるとともに、環境経営の継続的改善に努めます。
6. 一人ひとりの環境保護意識の自覚をもち向上を図り行動できるよう、環境教育・啓蒙を行い全従業員に対し環境経営方針の理解と徹底を致します。
7. 当社の環境経営方針はホームページにより、広く一般に公開します。

制定日：2009年3月1日

タツミ産業株式会社  
代表取締役社長 石関慎一

### 2020年目標

- ① 電力・水道水の使用量を増やさないよう努める。
- ② 自動車の燃費向上を図る。
- ③ ポスターの社内掲示、社員の環境教育・啓蒙を図る。

## 事業活動の概要

**社名** : タツミ産業株式会社  
**代表者** : 代表取締役社長 石関慎一  
**設立** : 大正 11 年(1922 年)3 月 5 日  
**資本金** : 5000 万円  
**事業内容** :  
 ◆食品包装容器・資材・機器・一般食品の卸売  
 ◆包装容器・資材等のプライベート商品のデザイン・企画・商品開発  
 ◆店舗設備機器の卸売  
 ◆包装容器等の輸入販売  
 ◆家庭用品雑貨の販売

**対象サイト** : タツミ産業株式会社  
**代表者** : 代表取締役 石関 慎一  
**事業部** : 本社・関東事業部  
           : 関東物流センター  
           : 関西事業部  
           : 関西物流センター  
           : 京都営業所  
           : 北日本事業部・東北営業部／東北物流センター  
           : 石巻営業所  
           : 札幌営業所  
           : 家庭用品部

環境管理責任者: 西田 二郎

TEL 03(3908)9525    FAX 03(3908)9510    携帯 080(5908)4373

事業活動の規模:(全社)

活動規模	単位	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
主要製品生産量	t	9,931	9,923	9,302	9,052	20,038
売上高	百万円	20,800	20,800	21,130	21,990	21,200
従業員	人	173	175	173	164	166
床面積	m <sup>2</sup>	8,620.1	8,620.1	8620.1	9,458.0	9458.0

保有車両:営業車:43 台、物流トラック:4 台

# 登録事業所

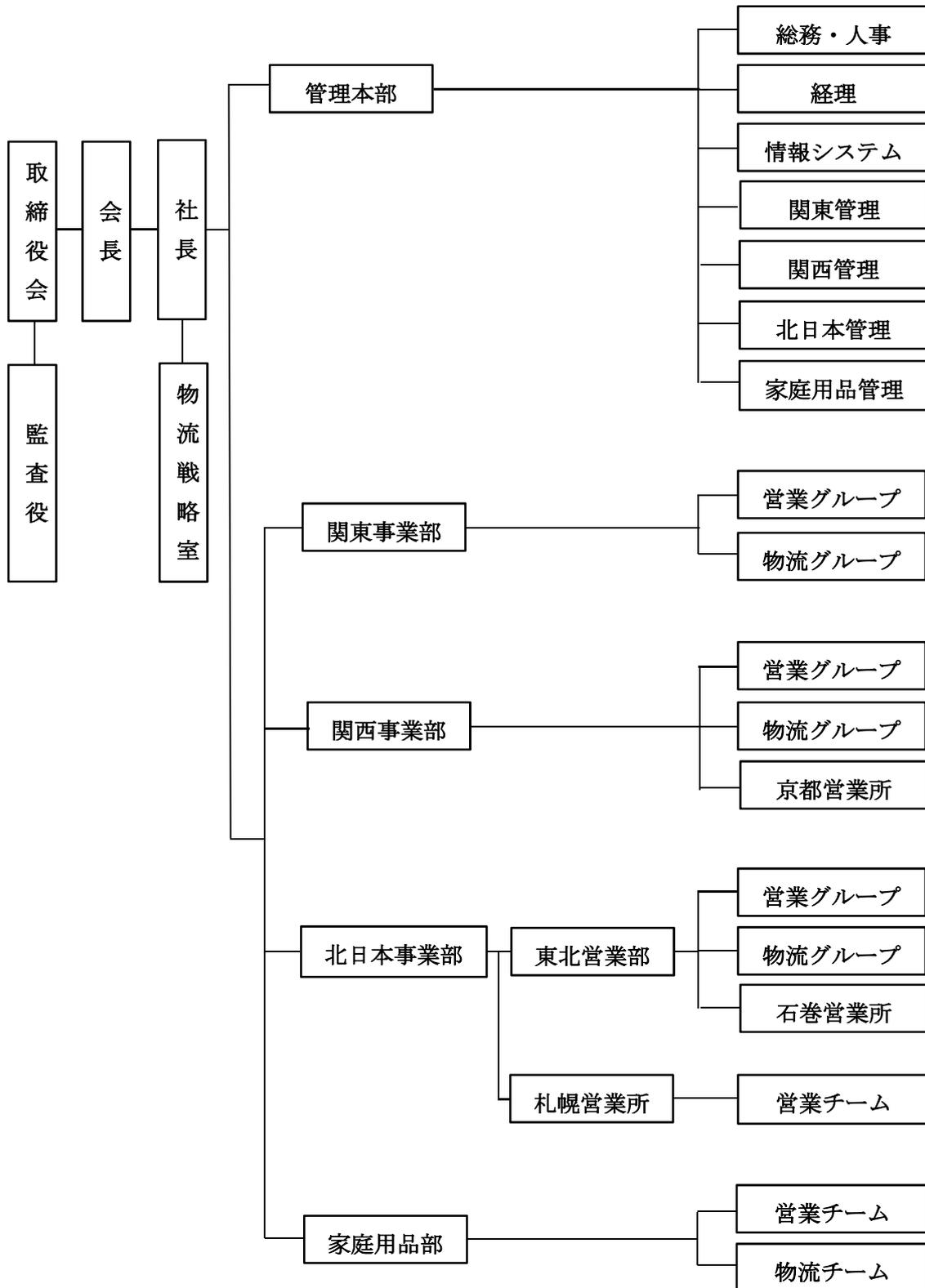
タツミ産業株式会社 TATSUMI SANGYO CO.LTD

## 審査対象サイト

名称	郵便番号	住所	TEL	FAX
本社 営業本部 管理本部 (事業所)	114-8540	東京都北区上十条 2-13-1 ガ-テ-ニ73階	03(3908)9525	03(3908)9510
関東事業部 (本社と同一 事業所)	114-8540	東京都北区上十条 2-13-1 ガ-テ-ニ73階	03(3908)5565	03(3906)3142
関東物流センター	339-0078	埼玉県さいたま市 岩槻区掛 615	048(758)2101	048(758)2136
関西事業部 (事務所)	532-0011	大阪府大阪市淀川 区西中島 7-1-26	06(6304)0005	06(6304)0124
関西物流センター	569-0823	大阪府高槻市芝生 町 1-52-1	072(648)3050	072(679)1331
京都営業所	601-8033	京都府京都市南区 東九条南石田町 77	075(694)1017	075(694)1029
北日本事業部・ 東北営業部/ 東北物流センター	984-8540	宮城県仙台市若林 区卸町東 5-6-25	022(288)1234	022(288)0050
石巻営業所	986-0027	宮城県石巻市明神 町 2-2-30	0225(94)8840	0225(21)1621
札幌営業所	061-3244	北海道石狩市新港 南 2-718-2	0133(64)5531	0133(64)5532
家庭用品部	114-0034	東京都北区上十条 3-24-12	03(3908)5401	03(3909)6825

# 組織図（全社版）

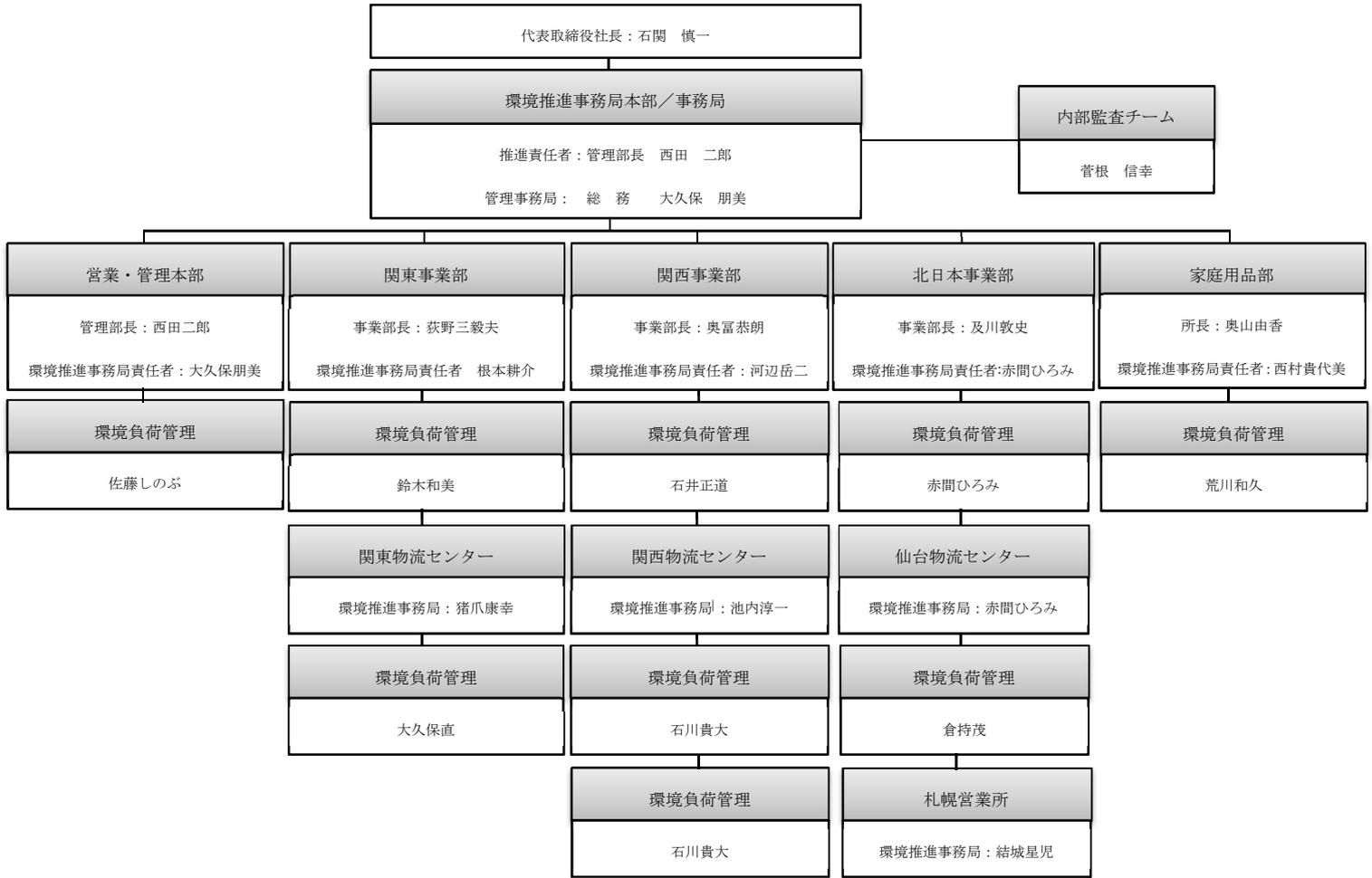
2019年3月1日改定



タツミ産業株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表

2020年11月4日

EA21 全社実施体制



実施体制における役割・責任及び権限を以下のとおり定める。

代表取締役 社長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、環境経営全般に対する責任と権限</li> <li>2、環境経営方針の策定・見直し及び社員への周知</li> <li>3、環境の目標・環境経営計画書の承認</li> <li>4、環境取組みの評価と見直し実施</li> <li>5、環境経営レポートの確認</li> </ol>
環境推進責任者 (管理事務局)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、環境経営システムの構築・実施・管理</li> <li>2、環境経営の進捗状況の把握・改善と代表者への報告</li> <li>3、環境経営レポートの作成と公開</li> </ol>
環境推進事務局 (事業責任者)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、環境負荷の自己チェック及び環境取組みの自己チェックの実施</li> <li>2、環境経営の実績集計</li> <li>3、環境関連の外部コミュニケーション窓口</li> <li>4、環境経営レポートの作成及び確認</li> </ol>
環境経営担当者及び 全社員共通の役割	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、環境経営目標・環境経営計画の達成と実績の把握</li> <li>2、関連法規等を遵守</li> <li>3、緊急事態への準備と訓練</li> <li>4、地域・社会への貢献活動</li> </ol>
内部監査チーム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ol>

## 2019年度／環境経営目標及びその実績

### 中期環境経営目標（全社計）

	単位	2019年度(基準年)	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	206,205	206,205	204,143	202,102
電力の削減	kwh	225,328	225,328	223,075	220,844
事業系一般廃棄物(可燃)の削減	t	8.06	8.06	7.98	7.90
水道水の削減	m <sup>3</sup>	1,017	1,017	1,007	997
自動車の燃費向上	km/l	13.38	13.38	13.25	13.12

## 2019 年度 4 月よりの全社での環境経営活動

取 組 み 計 画	
使用電力量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所内の温度設定 冷房 27℃ 暖房 20℃</li> <li>・不要場所、不要時の消灯</li> <li>・クールビズ、カジュアルデー導入</li> <li>・LED 蛍光灯の導入促進</li> </ul>
水道水の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・張り紙等による節水運動を啓蒙</li> <li>・水道水の水量調整器具等の導入・改善にて使用量抑制</li> </ul>
自動車燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の利用促進</li> <li>・エコドライブの推進</li> <li>・ガソリン使用量の可視化</li> <li>・エコカー・ハイブリッドカーの導入</li> </ul>
廃棄物の把握と削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域分別に基づいた廃棄分別の徹底</li> <li>・リサイクル排出に改善取組み</li> <li>・資料関連の紙媒体の使用の削減</li> <li>・マイ箸、マイカップによる廃棄物削減</li> <li>・納品の梱包材ダンボールのリユースとリサイクルの徹底</li> </ul>
環境対策商品の販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意先への啓蒙と提案</li> <li>・営業組織としても計画達成に向けて取組む</li> <li>・紙ストロー、生分解性プラスチックレジ袋の販売</li> <li>・生分解性の素材を用いた緩衝材の使用</li> </ul>
社内教育と啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する社内教育の機会作り</li> <li>・各事業所に環境活動レポートを配布と掲示</li> <li>・外部に対し環境活動レポートを配布、ウェブ公開</li> <li>・新入社員研修での啓蒙活動推進</li> </ul>
社会貢献と近隣とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所近隣の清掃活動</li> <li>・環境保全活動の参加推進</li> </ul>

## 2019 年度環境経営目標と実績

環境目標と実績	活動取組み
<p><b>二酸化炭素排出量の削減</b></p> <p>基準年度実績 2018 年度実績            255,857    CO2-kg</p> <p>2019 年度目標            255,857    CO2-kg              基準年度比            100%              削減率                 0%              削減数値               0    CO2-kg</p> <p>2019 年度実績            206,205    CO2-kg</p>	<p>◎ 達成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LED 導入による購入電力の削減</li> <li>・ 車両燃料の削減、公共交通機関の利用</li> <li>・ エコドライブ推進</li> <li>・ エコカー、ハイブリッドカー導入の促進</li> <li>・ 電力について(購入電力会社) 28 年度実績            関東事業部: 排出係数 0.462 東京電力エナジーパートナー(株)            関西事業部: 排出係数 0.418 関西電力(株)            東北事業部: 排出係数 0.523 東北電力(株)            家庭用品部: 排出係数 0.462 東京電力エナジーパートナー(株)</li> </ul>
<p><b>電力の削減</b></p> <p>基準年度実績 2018 年度実績            269,270    kwh</p> <p>2019 年度目標            269,270    kwh              基準年度比            100%              削減率                 0%              削減数値               0    kwh</p> <p>2019 年度実績            225,328    kwh</p>	<p>◎ 達成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クールビズ・カジュアルデー運動</li> <li>・ 冷房 27℃ 暖房 20℃</li> <li>・ 室内灯の消灯管理、残業業務の削減</li> <li>・ PC 待機電力削減</li> <li>・ 空調の必要な区域・時間の限定</li> <li>・ 蛍光灯反射板の設置</li> <li>・ 蛍光灯の間引き</li> <li>・ LED 蛍光灯の設置</li> <li>・ 省電力機器への買換え</li> <li>・ 窓ガラス面へのフィルム貼付</li> </ul>
<p><b>自動車の燃費向上</b></p> <p>基準年度実績 2018 年度実績            13.15    km/L</p> <p>2019 年度目標            13.15    km/L              基準年度比            100%</p> <p>    向上率                 0%              向上数値               0    km/L</p> <p>2019 年度実績            13.38    km/L</p>	<p>◎ 達成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車燃費向上の目標管理と指導</li> <li>・ 月間走行距離・月間軽油使用量の記入と管理</li> <li>・ 急加速・急停車の防止／エコドライブ指導</li> <li>・ アイドリングストップの啓蒙</li> <li>・ 使用量・燃費の可視化と公示</li> <li>・ 車両整備の促進</li> <li>・ 公共交通機関の有効活用</li> <li>・ ハイブリッドカーへの入替え</li> <li>・ 全社エコドライブシールの導入</li> </ul>

環境目標と実績	活動取組み
<p><b>事業系一般廃棄物の削減</b></p> <p>基準年度実績</p> <p>2018 年度実績            7,470 kg</p> <p>2019 年度目標            7,470 kg</p> <p>    基準年度比            100%</p> <p>    削減率                0%</p> <p>    削減数値              0 kg</p> <p>2019 年度実績            8,056 kg</p>	<p>× 未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピー、紙資料省略化</li> <li>・紙コップ、ペーパータオル抑制</li> <li>・マイ箸、マイカップ運動</li> <li>・分別廃棄の徹底</li> <li>・リサイクル業者の引取管理</li> <li>・実績が把握出来るよう調整</li> <li>・リサイクル量把握</li> <li>・段ボールリサイクルの推進</li> <li>・廃棄物削減目標説明と掲示</li> <li>・裏紙使用の徹底</li> </ul>

### 水使用量削減に関する実績と活動報告

環境目標と実績	活動実績
<p><b>水道水の削減</b></p> <p>基準年度実績</p> <p>2018 年度実績            1,235 m<sup>3</sup></p> <p>2019 年度目標            1,235 m<sup>3</sup></p> <p>    基準年度比            100%</p> <p>    削減率                0%</p> <p>    削減数値              0 m<sup>3</sup></p> <p>2019 年度実績            1,017 m<sup>3</sup></p>	<p>◎ 達成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節水呼びかけ</li> <li>・水道水の水量調整の実施</li> <li>・使いすぎ注意の POP を可視化</li> <li>・洗車の禁止</li> <li>・水道水削減目標説明</li> <li>・節水弁の取り付け</li> <li>・自動水洗取り付け</li> </ul>

2020年11月4日

環境経営計画の取り組み結果 ・ 評価 ・ 次年度の取組

タツミ産業株式会社

EA21/推進責任者：西田 二郎

取組み計画	評価(結果・次年度の取組)
① 使用電力量の削減 ・ 事務所内の温度設定 ・ 不要な場所や時間には消灯 ・ クールビズ期間の拡大を継続 (5月～10月末) ・ PC機器の待機電力削減	○ 達成しています(取組は次年度継続して実施) ・ 冷房 27℃、暖房 20℃ ・ LED電球に入れ替え。(全社) ・ カジュアルデーの導入。(全社) ・ PC本体及び関連機器の定期的入れ替え。(全社) ・ 省電力型PCへの検証。
② 水道水の削減 ・ 節水運動で啓蒙 ・ 水量調整の改善	◎ 達成しています。 ・ 全場所に張り紙で啓蒙活動を継続する。 ・ 音姫導入。
③自動車の燃費向上 ・ アイドリングの停止	◎ 達成しています。 ・ エコドライブ研修の実施・公共機関の使用喚起 (継続実施) ・ 効率的な営業ルートの確立。 ・ 無駄な車両の使用の禁止。(継続実施)
④廃棄物の把握と削減 ・ 各部署に合った分別把握 ・ 文書用紙の再利用、裏面使用 ・ マイ箸、マイカップの使用推奨 ・ 納品の梱包材段ボールのリユース ・ リサイクルの徹底	× 未達成 ・ リサイクル率向上に向け、資源回収分別の徹底。 ・ 社内文書を一部、紙から社内Webに変更。 ・ 会議のペーパーレス化。(プロジェクター使用) ・ マイ箸、マイカップ運動を継続。(全社) ・ プラ段ボールを一部使用開始。
④ 環境対策商品の販売 ・ 得意先への啓蒙と提案 ・ 営業部門の積極的関与推進	・ 環境対応型商品の推奨を推進。 ・ グリーン商品購入の継続と促進。 ・ 紙ストロー、生分解性プラスチックレジ袋
⑥社内教育と啓蒙 ・ 環境に関する社内教育を行う。 ・ 環境活動レポートを配布する。 ・ 外部への活動状況の広報	・ 今後、社内監査体制を強化して、削減目標達成に努力。 ・ 幹部会議、全体会議にてEA21に関する定例会実施。 ・ 環境活動レポートを自社HPにて公開する。 ・ 環境保全活動に参加協力する。
⑦事業所近隣の清掃活動	・ 全事業所の周辺において地域清掃活動を実施。(北日本) ・ 各地域で防災活動を行い、防災意識を深める。(全社)

## 2019年度 関東事業部 活動事例 (2019年4月～2020年3月)

### 【二酸化炭素 削減の取り組み】

#### ○節電対策○

■節電行動計画2019年度版策定 <<目標:昨年比でマイナス1%(▲1,293kwh)>>

<<管理本部・関東事業部・関東物流合計>>

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	達成
2018年度	8,170	8,681	9,748	11,992	11,930	10,009	9,203	9,262	10,339	10,066	9,251	7,858	116,509	
2019年度	8,597	8,053	9,684	10,447	12,588	10,421	9,047	8,435	10,856	10,017	9,467	9,921	117,533	×
削減率	▲5.23%	7.23%	0.66%	12.88%	▲5.52%	▲4.12%	1.70%	8.93%	▲5.00%	0.49%	▲2.33%	▲26.25%	▲0.88%	



#### ○節電対策○ (2013年9月より継続)

・LED導入(岩槻倉庫内 2016年9月)



・喫煙室西日対策(禁煙室改装 2017年3月)



#### ○節電対策○

・クールビス&ウォームビス  
5月1日～10月31日  
女性従業員ポロシャツ採用



・カジュアルデイ導入  
年間を通して金曜日にカジュアルな服装で勤務

物流従業員吸汗性機能ポロシャツ採用



男性・女性従業員ジャンパー採用



#### ○節水対策○ (2013年12月より継続)

・節水喚起のPOP表示



#### ○環境対策○

・低燃費車 軽自動車導入(2019年3月購入4月導入)



メーカー:日産 軽自動車 DYZ 2台導入

エコ装備:アイドリングストップ  
アラウンドビューモニター  
バッテリーアシスト  
ドライブレコーダー

安全装備:自動ブレーキ、踏み間違え防止

燃費:JC08モード カタログ値25.8km/L

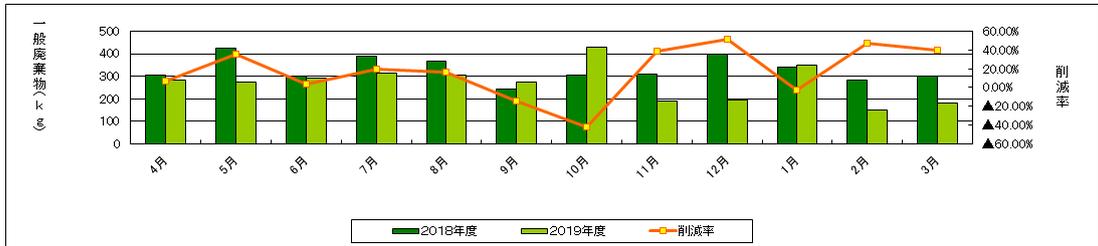
自社販売品:バイオタフバッグ  
植物性プラスチック10%配合



【廃棄物 削減の取り組み】

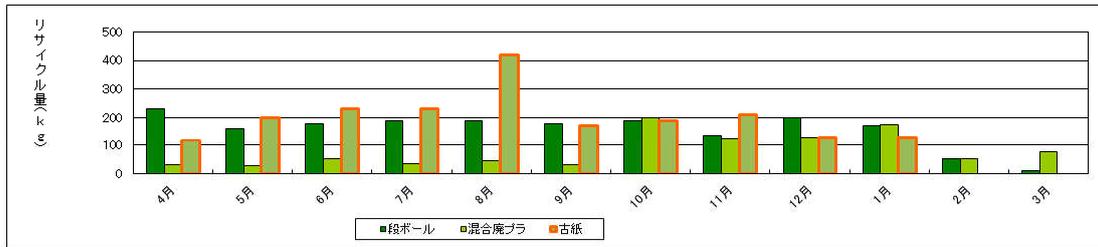
○ゴミ削減対策<<目標:昨対比マイナス1%目標>>○

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	達成
2018年度	304	425	302	389	366	242	303	312	388	339	284	289	3,962	
2019年度	282	276	290	313	304	276	431	191	193	347	149	180	3,234	○
削減率	7.04%	35.17%	3.97%	19.57%	16.79%	▲14.33%	▲42.30%	38.64%	51.51%	▲2.60%	47.54%	39.68%	18.39%	



○一般廃棄物 リサイクル状況 単位:kg○

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
段ボール	230	180	180	190	190	180	190	135	188	170	53	11	1888
混合廃プラ	32	29	53	36	46	32	200	127	128	175	52	76	986
古紙	120	200	230	230	420	170	180	210	130	130	0	0	2030
シュレッダー	104	56	62	45	39	42	55	45	41	53	60	32	634
合計	486	445	525	501	695	424	635	517	498	528	165	119	5538



○リサイクル○ (2013年5月から継続)

・リサイクル分別回収

①カタログ



②コピー用紙



③段ボール



④ペットボトル

キャップと本体の分別の徹底



・段ボールの再利用

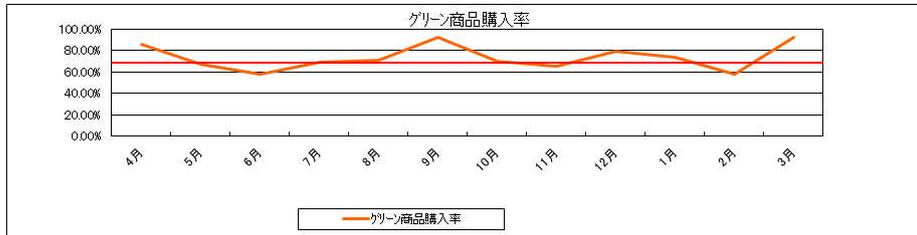
事務所内へ梱包専用保管BOXの設置  
サンプル商品を発送する際に梱包箱として使用



【その他の取り組み】

○事務消耗品におけるグリーン商品購入○  
 目標:グリーン商品購入率 70%以上

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
全購買額	103,982	104,261	51,310	122,410	91,179	68,093	62,636	101,747	93,111	94,091	40,641	82,053	1,015,604
グリーン商品購買額	89,664	70,300	29,681	84,139	65,031	62,745	44,046	66,326	73,956	69,005	23,522	75,496	753,912
グリーン商品購入率	86.23%	67.36%	57.85%	68.74%	71.32%	92.16%	70.32%	65.19%	79.43%	73.34%	57.88%	92.01%	74.23%



○エコ活動(2018年8月より)

・使い捨てコンタクト空ケースリサイクル



2019年12月 HOYAへリサイクルケース出荷  
 収集量:約2.6kg

○防災訓練実施○

・北区防災センターにて防災研修を実施  
 10月17日、18日 2班に分かれて実施

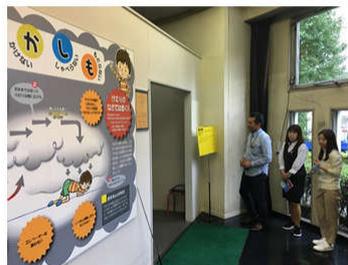
1. 地震体験

震度3から震度7までの揺れを体験し地震の際の初期行動を確認



2. 火災時の煙の中を歩く体験

仮想の煙の中を歩き訓練する



1. 消火器使用訓練

訓練用の消火器を全員が行う  
 火事の発生を知らせること、消火器の使用方法を確認する



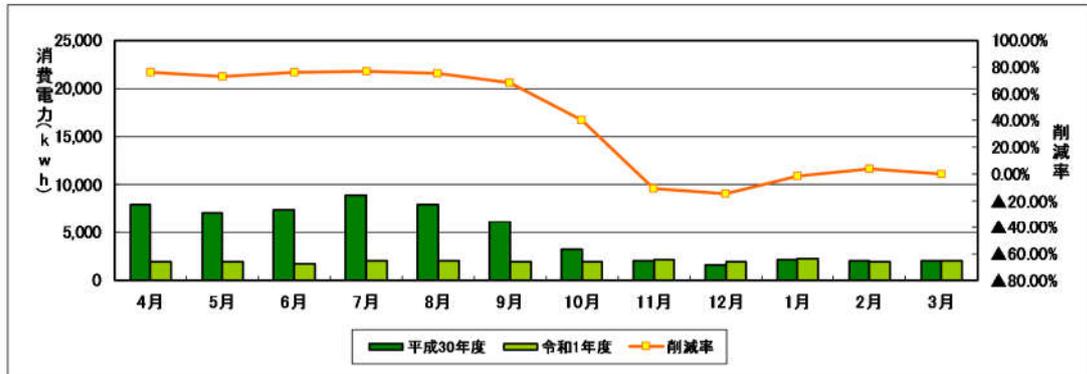
## 2019年度関西事業部 活動事例(平成31年4月～令和2年3月)

### 【二酸化炭素 削減の取り組み】

#### ○節電対策○

- ①蛍光灯に関して 必要としない箇所は撤去。必要時以外は消灯。
- ②パソコンに関して 外出時・退社時は、電源OFF。
- ③エアコンに関して 室温を28℃以上に調整。退社時はOFF。
- ④その他 給湯室の換気扇を常時から使用する時だけに。

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	達成
平成30年度	7,920	7,072	7,408	8,966	7,920	6,091	3,250	1,976	1,649	2,169	1,994	2,070	105,312	○
令和1年度	1,925	1,922	1,757	2,063	1,979	1,945	1,950	2,182	1,894	2,197	1,909	2,072	23,795	○
削減率	75.69%	72.82%	76.28%	76.99%	75.01%	68.07%	40.00%	▲10.43%	▲14.88%	▲1.29%	4.26%	▲0.10%	77.41%	



#### ○エコドライブ運転○

急ブレーキ・アイドリングを控えるように意識づけ。  
車にシールを貼付。

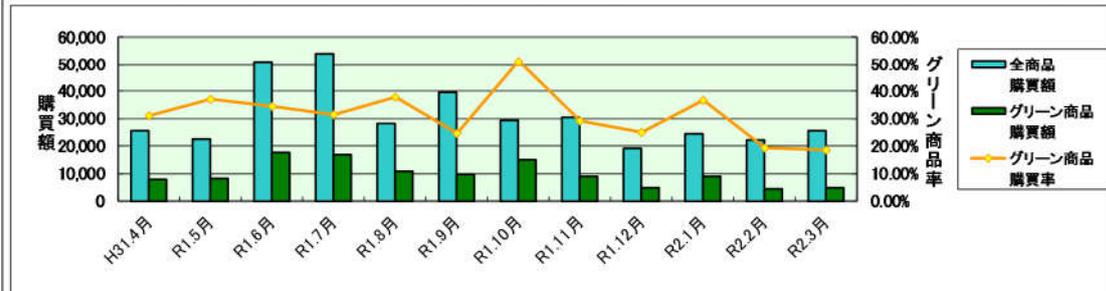


#### ○エコキャップ運動の推進○



## ○グリーン商品の購入○

年月	H31.4月	R1.5月	R1.6月	R1.7月	R1.8月	R1.9月	R1.10月	R1.11月	R1.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	累計
全商品 購買額	25,484	22,703	50,745	53,749	28,255	39,369	29,372	30,335	19,278	24,353	22,172	25,721	371,536
グリーン商 品 購買額	7,936	8,380	17,534	16,926	10,744	9,668	15,002	8,819	4,835	8,963	4,264	4,823	117,894
グリーン商 品 購買率	31.14%	36.91%	34.55%	31.49%	38.03%	24.56%	51.08%	29.07%	25.08%	36.80%	19.23%	18.75%	31.73%



平成24年4月より「グリーン購入ネットワーク」へ入会しました。

## 【廃棄物 削減の取り組み】

### ○裏紙の利用○



裏紙の置き場を設置。  
コピー機・プリンターで専用トレーを決め使用

### ○ゴミの分別○

一般・ペットボトル・シュレッダー・段ボール・紙ごみを分別。

ペットボトル	専用箱を設置
段ボール	物流にて再利用・リサイクル
新聞・カタログ	リサイクル
紙封筒	リサイクル

### ○プラスチック段ボールの推進○

紙段ボールからプラスチックへ



### ○マイコップ・マイ箸の推進○



## 2019年度 東北営業部 活動事例（平成31年4月～令和2年3月）

### 【二酸化炭素 削減の取り組み】

#### ○節電対策○

- ①蛍光灯に関して 必要時以外は消灯。外灯点灯時間は季節ごとに調整。
- ②パソコンに関して 外出時・退社時は、電源OFF。
- ③エアコンに関して 冷房を28℃、暖房を20℃に調整し、稼働台数を考慮する。退社時はOFF。

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	達成
平成30年度	5,917	4,253	3,915	4,247	4,597	4,520	4,098	4,982	6,230	6,788	7,475	6,341	63,363	×
令和01年度	5,536	3,575	3,689	3,567	3,937	3,907	3,448	3,697	5,120	5,148	5,423	4,871	51,918	○
削減率	6.44%	15.94%	5.77%	16.01%	14.36%	13.56%	15.86%	25.79%	17.82%	24.16%	27.45%	23.18%	18.06%	



#### ○節電対策○

- ・休憩時間及び出荷作業終了時は消灯



- ・エアコンの設定温度管理・節電



#### ○節水対策○

- ・水道・湯沸かし器使用時の節約意識を確認



#### ○エコカー導入○

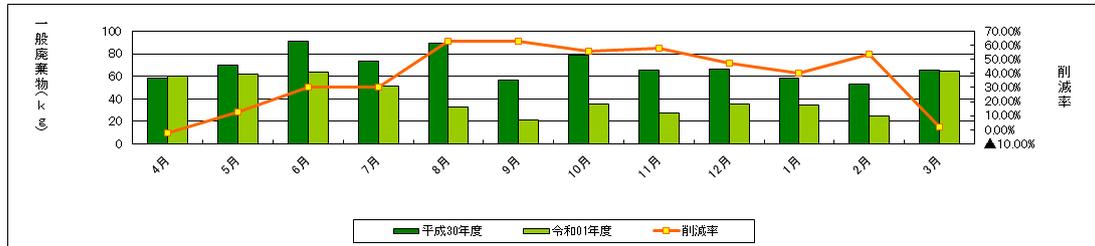
- ・エコカー導入・エコドライブの心がけにより 燃費向上



【廃棄物 削減の取り組み】

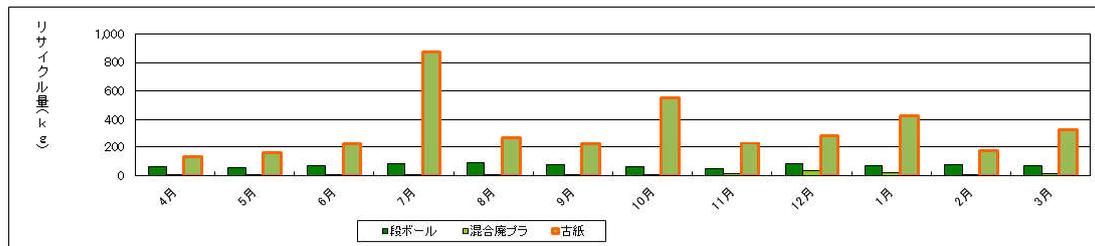
〇ごみ削減対策〇

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	達成
平成30年度	59	70	92	74	89	56	79	65	66	58	53	66	827	○
令和01年度	60	62	64	52	33	21	35	28	35	35	25	64	512	○
削減率	▲2.55%	12.38%	30.46%	30.03%	63.19%	62.94%	55.88%	57.82%	47.12%	40.31%	53.51%	2.13%	38.12%	



〇一般廃棄物 リサイクル状況 単位:kg〇

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
段ボール	64	58	70	86	90	78	66	52	84	68	74	72	862
混合廃プラ	3	3	2	5	9	2	8	13	32	21	4	17	117
古紙	134	158	227	873	270	221	553	229	286	427	177	329	3663
シュレッダー	0	0	0	9	0	0	5	0	0	0	0	5	19
合計	201	219	299	972	369	301	632	294	402	516	255	423	4881



〇ごみの分別〇

☆事務所内(一般・シュレッダー・プラごみ) 分別して廃棄  
 コピー用紙・コンピューター用紙の再利用(裏紙使用)  
 毎月コピー用紙の使用数・購入数を記録(データ数字参照)  
 帳票・封筒などは指定箱にリサイクルごみとしてリサイクル業者に持込み

☆倉庫内(一般・プラごみ・PPバンド・ダンボール) 分別して廃棄  
 ダンボールの再利用: 重さを計量し所定の用紙に記載する  
 古紙・ダンボールをリサイクル業者に持込み再利用  
 緩衝材の再利用



【その他環境に配慮した取り組み】

○敷地内の整備・清掃活動○

2019年6月・8月 東北営業部 駐車場スペース整備・草むしり、



2019年7月  
門扉を新しく入れ替えた



新しく「くちなし」が仲間入り

○空調設備の点検・清掃○

令和元年5月 新しくエアコンを入れ替えた  
(今年度の点検清掃は無し)



○マイカップ使用○

給茶機にマイカップ使用を掲示



## 2019年度 家庭用品部 活動事例 (2019年4月～2020年3月)

### 【二酸化炭素 削減の取り組み】

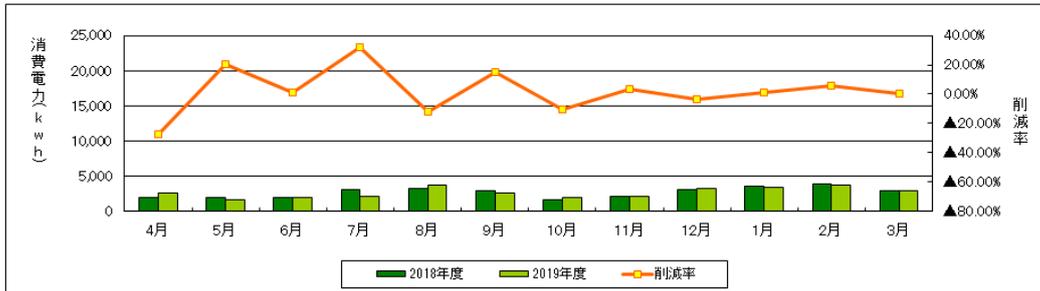
#### ○節電対策○

- ① 照明器具をLEDに交換。(平成25年9月より)
- ② 事務所・倉庫共に不在時や作業終了後の消灯を徹底する。
- ③ 退社チェック表を活用し、電力使用機器類の消し忘れ防止を継続する。

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	達成
2018年度	2,037	2,050	2,049	3,183	3,321	3,000	1,738	2,162	3,153	3,530	3,943	2,951	33,117	○
2019年度	2,596	1,626	2,024	2,159	3,708	2,551	1,918	2,086	3,252	3,497	3,725	2,940	32,082	○
削減率	▲27.44%	20.68%	1.22%	32.17%	▲11.65%	14.97%	▲10.36%	3.52%	▲3.14%	0.93%	5.53%	0.37%	3.13%	

◆LED照明交換時期  
平成25年9月(事務所・キッチンラボ・通路)、平成26年3月(1F倉庫)、平成26年8月(3F倉庫)

☆2019年度  
作業場所を変更したことよりエアコン温度設定が一定に保つことができた結果が表れた。  
2018年度物流作業を一部エアコンが無い場所から行う。



☆作業場所の見直し(新規)  
作業は全て室内で統一し、作業場による寒暖差をなくす。



☆フロアカーペット導入(継続)  
事務所エリアにカーペットを導入  
冬の断熱効果を上げる。



☆シーリングファン設置(継続)  
事務所各エリアにシーリングファンを設置し  
室内温度を一定にする。



☆インプラス(継続)  
シュミレーション室に二重窓を設置。  
室内外の温度差を調整して空調・防音効果を高める。



【廃棄物 削減の取り組み】

○ゴミ削減対策<<目標:昨対比マイナス1%目標>>○

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	達成
2018年度	42.0	40.0	37.5	35.0	36.0	22.0	31.5	43.5	42.0	30.0	24.5	49.5	433.5	○
2019年度	31.5	21.0	29.0	33.0	27.5	23.0	33.5	25.0	33.5	36.5	28.0	32.0	353.5	○
削減率	25.0%	47.5%	22.7%	5.7%	23.6%	▲4.5%	▲6.3%	42.5%	20.2%	▲21.7%	▲14.3%	35.4%	18.5%	



☆環境対応

梱包時に使用するレジ袋をバイオマス配合に変更(新規)

ごみ減容化

紙コップからプラコップへ(新規)



**バイオじゃろ10**  
(バイオマス10%) 実用新案 登録第3221743号

「CO<sub>2</sub>排出削減」や「石油資源の節約」となる植物(サトウキビ)を原料とするグリーンバイオポリエチレンを原料として配合した袋です。健康食品高減効果があり、**植物由来10%以上**の一般社団法人日本有機資源協会が認定しています。  
また、印刷インキを使用せずエンボス柄を利用してバイオマス認証を表示したことにより、**リサイクルし易い**、環境にやさしいレジ袋です。

バイオマスマークのエンボス印が印刷されています

グリーン購入法 適合品

規格	寸法	入荷数 (1ケース)	JAN	備考	
標準品	S	180×100×250	2,000 個	4978810017060	100枚外袋入
	B	180×120×280	2,000 個	4978810017077	100枚外袋入
	M	220×130×430	2,000 個	4978810017084	100枚外袋入
	L	280×140×480	1,000 個	4978810017091	100枚外袋入
	LL	300×150×530	1,000 個	4978810017107	100枚外袋入
	LX	350×150×570	1,000 個	4978810017114	100枚外袋入
標準品	S	180×100×250	2,000 個	4978810017121	100枚外袋入
	B	180×120×280	2,000 個	4978810017138	100枚外袋入
	M	220×130×430	2,000 個	4978810017145	100枚外袋入
	L	280×140×480	1,000 個	4978810017152	100枚外袋入
	LL	300×150×530	1,000 個	4978810017169	100枚外袋入
	LX	350×150×570	1,000 個	4978810017176	100枚外袋入

中川製袋化工株式会社

【その他の取り組み】

○事務消耗品におけるグリーン商品購入○

目標:グリーン商品購入率 70%以上

年月	R1.4月	R1.5月	R1.6月	R1.7月	R1.8月	R1.9月	R1.10月	R1.11月	R1.12月	R2.1月	R2.2月	R3.3月	累計
全購買額	66,869	35,262	54,737	49,356	36,963	71,560	45,838	48,825	41,956	49,315	33,456	69,824	603,961
グリーン商品購買額	38,271	14,355	22,517	13,683	13,457	23,793	19,992	27,421	14,882	18,897	15,744	43,455	266,467
グリーン商品購入率	57.23%	40.71%	41.14%	27.72%	36.41%	33.25%	43.61%	56.16%	35.47%	38.32%	47.06%	62.24%	44.12%



## 代表者による環境経営計画内容及び取組み状況評価

### 2020年度、代表者による全体の評価と見直し記録

実施日	2020年10月30日	実施場所	応接室
参加者	石関社長、西田部長、大久保	記録作成日	2020年11月4日
		作成者	大久保

#### A：前回の指示への取組結果

前回の指示事項	取組結果
1. 前年同様、燃費向上に関して未達成であった。エコカー導入やエコドライブの徹底を指示し、社員の意識改革を図る。	エコカーや軽車両の導入を実施し、エコドライブを促した。
2. 環境目標・環境活動計画の目的・実施状況について社内教育する事。	月に1度、管理部会内で環境活動計画の実施状況を確認。その後、確認した内容について各部署内で社員に伝達した。

#### B：今回の評価結果

見直しに必要な情報 (環境管理責任者の報告事項)	代表者の評価結果 (有効に機能しているか、適切に実施されているか)
1. 環境経営目標の達成状況	CO2：達成している。前年比約76%削減できた。 廃棄物：達成している。 排水：前年より81%削減できた。
2. 環境経営計画の実施及び運用結果	CO2：エアコンの過度な使用を控えるよう指導。 廃棄物：紙ごみはリサイクルしている。効果あり。 排水：節水の啓もう活動を行っている。効果あり。
3. 環境関連法規等の遵守状況	遵守評価を2020年10月に実施。問題なし。
4. 外部からの環境に関する苦情・要望	苦情要望なし。

#### C：(環境管理責任者への) 指示内容

指示項目	変更する 必要性判断	代表者の指示内容(5W1Hで)
1. 環境経営方針	有・○無	
2. 環境経営目標	○有・無	前年の実績を踏まえて、年間の環境目標を見直す。
3. 環境経営計画	有・○無	
4. 環境経営システム (上記1. 2. 3以外)	有・○無	

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1) 適用される主な環境関連法規

- ・環境基本法
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・下水道法
- ・容器包装リサイクル法
- ・フロン排出抑制法

### (2) 違反・訴訟等

2019年度において一連の違反・訴訟等はありませんでした。

また、過去3年間においても違反・訴訟等は一度もございません。

本社及び各サイト周辺の住民・企業からの要望はありませんでした。

以上